

インフォメーション

5/16 第14回臨時理事会開催

(1)2017年度決算関係書類等承認の件
 (2)2018年度借入金最高限度額決定の件
 (3)第26回通常総代会招集及び通常総代会に付議する議案決定の件

2017年度の決算関係書類等を議決しました。
 2018年度借入金の最高限度額を、当組合の総資産や当座資産を勘案し171億円とすることを議決し

ました。
 (3)第26回通常総代会招集及び通常総代会に付議する議案決定の件
 定款62条(通常総代会の招集)、64条(総代会招集の議決事項等)に基づき、第26回総代会の招集と通常総代会に付議する議案について議決しました。

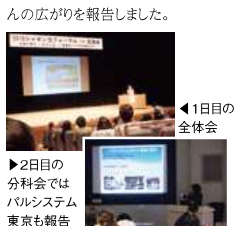
5/24 第15回定例理事会開催

議決事項はありませんでした。

5/12-13 シャボン玉フォーラムin北海道

『大地が育む いのちの水』~未来をつくるのは私たち~のメインテーマで開催された「シャボン玉フォーラムin北海道」。野々山理事長のほか、3名の組合員が参加しました。

2日目の全国の生協が石けん運動を報告する分科会では、野々山理事長がパルシステム東京の環境政策や、産直産地やメーカーなどへの石けんの広がりについて報告しました。



今年度「ヒバクシャ国際署名」は注文とっしょに!

2017年、国連で「核兵器禁止条約」が採択されました。しかし核保有国はもとより、日本も不参加を表明しています。

パルシステム東京は、核兵器廃絶と禁止条約の発効を訴える「ヒバクシャ国際署名」に取り組んでいます。今年度は、注文時に6ケタ番号を記入すると自動的に署名できるようになりました。

また、家族や友人が署名できる「電

子署名サイト」もホームページに設置しています。詳しい情報は、パルシステム東京ホームページで。



パルシステム東京 5月 データ

総事業高 65億8,717万円

組合員数: 48万5,111人 予算比101.7% 予算達成

リユース・リサイクル回収率

※回収率は2018年4~5月の回収率(供給量)

- 商品カタログ 78.1%↓
- 紙バック 73.3%↓
- 資源プラスチック類 35.9%↓
- リユースびん 58.2%↓
- お料理セットトレイ 61.1%↓
- ABバックヨーグルトバック 41.3%↓
- 米袋 41.2%↓

はじめませんか? エコライフ!

※詳しくはパルシステム東京ホームページから

2017年度 決算報告

2017年4月1日~2018年3月31日

総事業高(すべての事業収入) **742億2,973万円**

出資金 **178億6,421万円**

前年比 103.8% 1人当たり出資金額 3万7,310円

前年比 101.4% 予算比 100.7%

経常剰余金 **9億1,306万円** 組合員数 **47万8,796人**

事業総剰余金から経費や利息などを精算した、今期の利益

パルシステム事業総事業高 **731億839万円** 予算比 100.7%

福祉事業総事業収入 **10億7,987万円** 予算比 99.4%

(マークは予算比。数値は1万円未満切り捨て)

2018年度の パルシステム東京の活動と事業

第26回通常総代会 第2号議案より抜粋

グローバル化が進み日本の食が危なくなっています。脱原発や平和な世界の実現なども道なればです。よりよい社会をつくるため、組合員や職員の一人ひとりが学び・行動する機会をつくり、活動の輪を広げます。

パルシステム東京のふたつの事業は、2018年度、以下の方針で進めます。



- パルシステム事業
 組合員のライフスタイルの変化に合わせた配達方法を研究し、改善します。
- また、組合員の食の安全・安心への期待に応えるため、非遺伝子組み換え原料を使用した商品の追求や農業などの使用削減について、商品会議を軸に検討します。さらに、これまで高めてきたパルシステム商品の価値を伝える取り組みを継続。若年層の組合員が参加しやすくなるための工夫にも取り組みます。
- 福祉事業
 介護事業では、パルシステムグループなどと連携しながら、介護人材の育成や介護サービスの質の向上などを推進します。また保育事業では「食育」「木育」「遊育」を柱とした保育サービスの質の向上につとめ、ともに経営基盤を構築します。

次はあなたが総代に!

パルシステム東京の明日をつくる総代には、組合員(2018年6月末時点で組合員登録)なら誰でも立候補できます。初めてでも、子育て中でも、スタッフがサポートするので、不安なく総代の活動に取り組みます。

ぜひ立候補してください。

応募締めの切り

8月24日(金) 17時 まで

問い合わせ & 立候補の応募は、
 ▶総代ホットライン ☎0120-806-056



パルシステム東京 第26回 通常総代会 開催報告

聞いて 考えて 議決しました

パルシステム東京が2017年度行ってきたことを確認し、2018年度に何を行うのかを決める総代会。出席した477名の総代(書面、代理人含む)が、2つの議案を可決・承認しました。

参加したみなさんの声で、総代会のようすを伝えます。



6月12日 京王プラザホテル(新宿区)にて

5回目の総代です。総代になって、世代が違う人、仕事をしている人、いろいろな組合員とつながることができたと思います。また、農業のことなどを、考えるきっかけにもなりました。 世田谷区 Oさん

私たち総代は、これまでの3回の総代会議で意見を表明し、議案づくりに参加しました。その議案を確認する場が総代会です。私たち議長もみなさんと同じ組合員として、総代会の進行役に臨みました。活発な意見がでるのはパルシステム東京のよさ。生協の未来が広がる意見が続くことを願います。議事運営へのご協力、ありがとうございます。 武蔵野市 Yさん

パルシステム東京は、組合員による運営を大切にしています。組合員理事も大事な役割を担っていますが、組合員運営の一番の要は、組合員の代表の総代であり、総代会です。今回、理事と総代がともにつくりあげた方針案に、多数の厳しい意見をいただいたことは、理事一同、重く受け止めています。今後も組合員の声でつくる生協をめざし、運営改善にみなさんと取り組んでいきます。 野々山理恵子理事長

総代って何だろうと思いつつながら参加しました。理事の説明や総代の意見を聞き、パルシステム東京のこだわりや課題を知りました。そして、組合員である自分ができることは何だろう...と考えるようになりました。また、組合員が積極的に意見をだし合うことが生協らしいかなと肌身に感じました。 足立区 Kさん

今回の総代会では、福祉事業への意見が多くあったことが印象的でした。私も組合員として真剣に考え、議決に参加しました。 調布市 さん

初めての総代です。こんなにたくさんの人が集まるんだとびっくりしました。私の中ではふたつの議案は問題ないと思っていましたが、会場でのさまざまな意見を聞き、そんな考えもあるのかと気づき、実際に出席する意義がわかりました。 江戸川区 Mさん

3歳児がいても保育のおかげで議論に集中できました。また11~4月にかけて事前に3回行われた総代会議後の昼食時に、理事や総代の方々からじっくりとお話を聞いていたので、議決にも不安なく参加できました。 中央区 Kさん

長年利用している方は勉強されていると思いました。一方で、若い世代や組合員歴の浅い総代は気後れしてしまいがち。みんなが発言しやすくなる工夫があってもいいかなと思いました。 大田区 Kさん

総代会の詳しい報告は、7月16~20日週に配付の「第26回通常総代会報告」でお知らせしました。ホームページでもご覧いただけます。